

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長
 福田 紀彦 様

郵便番号 210-0864
 住 所 川崎市川崎区池上町2番1
 氏 名 エヌケーケーシームレス鋼管(株)
 代表取締役 パルメテ・ローランド・コーネス

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エヌケーケーシームレス鋼管株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区池上町2番1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	継目無鋼管の製造・販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	20,645	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

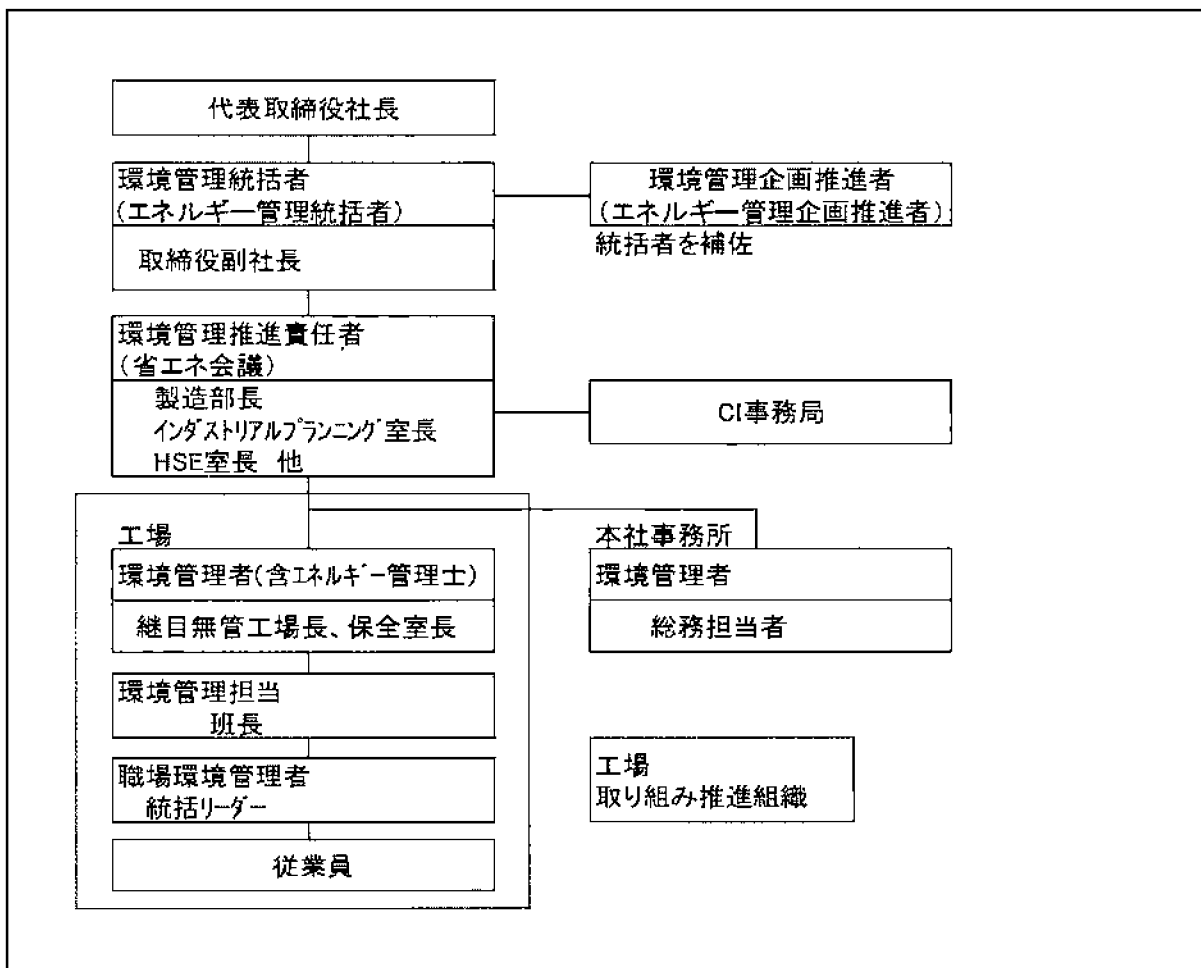
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 地球温暖化対策基本方針
事業活動に伴うCO2排出による地球温暖化対策として以下の方針により、CO2の排出削減を図る。
 - (1) CO2削減目標を明確にし、その期間内の達成を目指す。
 - (2) 全社において、組織的に、継続して対策を推進する。
 - (3) 低操業度下での生産量の変動に対応した効率的な生産ラインの運用を実施する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDC Aサイクル）を行うための方針

- ① 継目無管工場のエネルギー削減計画に基づき、基準年（H30年度）に対する削減目標を設定し、年度ごとに省エネ会議にて、実績を確認する。
- ② 年度計画の実施項目あるいは新規検討項目の進捗についても、毎月の省エネ会議にて確認する。
- ③ 上記①、②の結果を踏まえて、年度予算の策定時にそれら結果の評価と、計画および検討項目等を見直す。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	H30 (2018)				年度
目標	年度	R3 (2021)				年度
基準	排出量	(実)	38,141	(実)		
		(調)	38,141 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実)	36,767	(実)		
		(調)	t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削減量		(実)	1,374 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実)	1,374 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実)	3.6 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量					
原単位の単位					
基準年度の値					
目標年度の値					
削減率			%		%

ウ 目標設定に関する説明

当社は本社事務所と継目無管工場の2つの事業からなり、排出量削減は継目無管工場の電力およびコークス炉ガスの削減対策により、その3.6%を削減目標とする。主な削減対策として、燃焼用ブローの小型化、変圧器等の老朽更新による電力削減、燃焼用ガスについては熱処理炉の空燃比の最適化、排熱回収設備の老朽更新等を計画。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。)

計 画	① 燃焼炉の省エネ診断を外部機関により実施し、空燃比の最適化による燃焼ガスの削減 ② 加熱炉のレキュペレータ老朽更新による排熱回収効率等の向上 ③ 燃焼用ブロワーの小型化による低負荷時の電力削減 ④ 変圧器と空調設備の老朽更新による電力削減
第 1 年度	/
第 2 年度	/
第 3 年度	/
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

① 工業炉の効率管理 小径工場加熱炉、熱処理炉において、昇温、保熱時の稼働状況に合わせたヒートパターンを設定した。 ② ファン及びブロワーの運転管理 大径管工場加熱炉の燃焼ブロワーの改造 (保熱時対策) ③ ポンプの運転管理 圧延油圧ポンプの稼働最適化 (オンオフ負荷の見直) を大径管圧延油圧システムで実施した。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策 ○エコ運搬制度の荷主としての活動推進 ○川崎温暖化対策推進会議への参加
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	38,141	t-CO ₂
(調)		

イ 原油換算エネルギー使用量

	20,645	K L
--	--------	-----

ウ 事業所の数

	2
--	---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
継目無管工場	川崎区池上町2番1	37,877 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂